

# 食の安全と健康シンポジウム

食の安全・安心  
健康の維持・増進と病気の予防  
高度QOL(生活の質の向上)の実現を目指して!

国立大学法人 埼玉大学・群馬大学・宇都宮大学・茨城大学の首都圏北部4大学連合(4u)では、食の安全や健康に関する研究成果の紹介と産業界をはじめとした学外の皆様との交流の場づくりの一環として、昨年に引き続き「食の安全と健康」をテーマとしたシンポジウムを開催いたします。

今年度は第1回(2010.11.26 さいたま市)シンポジウム以後の進展を含めて館林市で行います。共同研究、商品化に進展してきたテーマもあります。4u関係地域の産学官連携の輪の広がりや深化促進を目指します。

本シンポジウムでは、その取組の概要や関連する研究について紹介すると共に、特別講演「放射線・放射能に係る食の安全、そして健康影響の課題」およびポスターセッション&交流会を行いますので、産学連携を進める企業の皆様や研究者、コーディネータの方々との情報交換ならびに連携の相談等の絶好の機会となります。皆様のご参加をお待ちしております。



- 東武伊勢崎線「館林駅」下車→市バス「館林板倉線」もしくは「館林板倉北線」で「市役所前」下車すぐ
- 東武伊勢崎線「館林駅」下車徒歩約20分
- 車でご来場の方は、当会館および周辺の駐車場をご利用下さい

**日時** 2011年11月17日(木)

13:00~17:20 (交流会17:30~)

**開催場所** 館林市文化会館小ホール  
群馬県館林市城町3-1

**参加費** 無料 (交流会は2千円)

**他詳細** 裏面をご覧ください

【主催】首都圏北部4大学連合(茨城大学・宇都宮大学・群馬大学・埼玉大学)

【後援(予定)】関東経済産業局、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県、館林市、さいたま市、(財)埼玉県産業振興公社、(財)群馬県産業支援機構、(財)栃木県産業振興センター、(財)茨城県中小企業振興公社、(株)ひたちなかテクノセンター、館林商工会議所、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉信用金庫、東和銀行、群馬銀行、足利銀行、栃木銀行、常陽銀行

# ■ プ ロ グ ラ ム ■

No. 1 13:00～13:05 <開会挨拶>

No. 2 13:05～13:10 <食の安全と健康研究会の活動紹介>  
埼玉大学 地域オープンイノベーションセンター センター長補佐・教授 大澤 清一

No. 3 13:10～14:10 <特別講演>「放射線・放射能に係る食の安全、そして健康影響の課題」  
自治医科大学 R I センター管理主任 菊地 透

【講演概要】福島第一原発事故に伴う放射性物質は、環境中に大量に放出し福島県内を含め、東日本の各地の空気、土壌、海洋、河川、農産物から検出されております。そのため、日常生活で飲食する水道水、野菜、魚、肉等の食品や住民の体内や母乳からも放射性ヨウ素、放射性セシウム等が検出され、市民の食生活に深刻な不安と混乱を与えております。今回は、福島原発事故に伴う食品の放射能汚染と、人の健康影響について解説する。

以下、講演は発表30分+質疑応答5分

No. 4 14:10～14:45 <講演 1>「機能性食品素材をめざした新規コンニャクグルコマンナンの開発」  
群馬大学 研究・産学連携戦略推進機構 機器分析センター 准教授 瀧上 昭治

【講演概要】コンニャクグルコマンナン (KGM) は、水溶液状態で摂取すると血中コレステロールの低減効果があることが世界的に認められている。ここではKGMについて解説した後、溶液粘度が低く、溶解性が高いKGMの調製とその機能性について解説する。

No. 5 14:45～15:20 <講演 2>「サポニン成分をターゲットとした美味しく健康によい大豆の開発に向けて」  
茨城大学 農学部資源生物科学科 教授 白岩 雅和

【講演概要】良質のタンパク質と脂質に富み、多くの食品の三次機能を有する食品素材である大豆において、サポニンの生合成を人為的にコントロールし、低不味味および食品機能性の観点から大豆の付加価値を向上させるための研究を紹介する。

【 休 憩 】

No. 6 15:30～16:05 <講演 3>「安全・安心・高機能野菜が生産可能な植物工場への期待」  
宇都宮大学 農学部農業環境工学科 教授 齋藤 高弘

【講演概要】食生活の変化により、生食用野菜を口にする機会が増える一方、残留農薬、有害微生物等による食の安全に関わる不安も大きい。そこで、食の安全を保障でき、高品質な野菜生産が可能な植物工場が注目を集めており、話題提供する。

No. 7 16:05～16:40 <講演 4>「美味しく健康に良い大麦食品の開発～大麦新品種の栽培、大麦粉加工、生麺の開発」  
埼玉大学 教育学部 教授 川嶋 かほる  
サッポロビール(株) バイオ研究開発部 麦育種開発センター (群馬県太田市) センター長 木原 誠  
中野食品(株) (埼玉県八潮市) 商品開発部 マネジャー 河村 昌太

【講演概要】美味しい大麦食品の開発の経緯(埼玉大)と「β-グルカンを豊富に含む新品種「もっちりぼし」の開発」(サッポロビール)、大麦粉を使用した健康に良く普及性の高い麺類の新製品開発について(中野食品)を紹介する。

No. 8 16:40～17:15 <講演 5>「食品分析に向けたバイオセンサの開発」  
東洋大学 生命科学部 食環境科学科 准教授 宮西 伸光

【講演概要】これまでに、様々な研究分野や食品、医療などの分析の場において、“バイオセンサ”は広く利用されてきた。本発表では特に「糖」に着目し、糖質関連分子と電気化学的手法とを組み合わせたバイオセンサの開発について紹介する。

No. 9 17:15～17:20 <閉会挨拶>

No. 10 17:30～18:30 ポスターセッション&交流会 (参加費 2 千円)

※本件に関する問合せは、群馬大学 共同研究イノベーションセンター 香月 または 伊藤(志) までお願い致します。  
電話 : 0277-30-1669 Eメール : innovation@jimu.gunma-u.ac.jp

----- (お申し込み: 下欄に必要事項を記入いただき、事前に F A X もしくは E メールにてお申し込みをお願い致します) -----

群馬大学 共同研究イノベーションセンター 行 F A X : 0277-30-1192 Eメール : innovation@jimu.gunma-u.ac.jp

**第 2 回 食の安全と健康シンポジウムに、以下の通り参加申込みします。 申込期限 : 11月11日(金)**

貴社名 : \_\_\_\_\_ 業 種 : \_\_\_\_\_ T E L : \_\_\_\_\_

住 所 : \_\_\_\_\_

ご 芳 名		
ご 役 職		
E メール		
ポスターセッション &交流会	参 加 ・ 不 参 加 (当てはまるものに○)	参 加 ・ 不 参 加 (当てはまるものに○)

\* 3 名様以上でのお申込は、本紙をコピーしてお送り下さい。本申込記載事項は、本シンポジウムの開催に際してのみ利用致します。